

2024年度 授業改善アンケート第2Q・前期「教員コメント（学生に対するフィードバック）」

講義名	期間名	氏名	設問01
情報基礎演習Ⅰ（M-A）	前期	由水・薦田・佐藤雅	【同一科目に同じコメントを載せています】アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。皆さんがパソコンやソフトの使い方を理解でき、発表にも楽しんで取り組んでいただけたことを嬉しく思います。改善点としていただいた意見は真摯に受け止め、今後はより一層丁寧で、異なる機種にも対応できる指導を目指してまいります。皆さんが安心して学べる環境を提供できるよう、引き続き努力していきます。
情報基礎演習Ⅰ（S）	前期	宮崎・薦田	肯定的な意見が多かったものの学習面で差があったという結果になってしまい反省している。個別へのサポートやシラバスの見直しを含め、より学生の意見を反映した講義にしていくこととする。
情報基礎演習Ⅰ（D）	前期	薦田・佐藤雅	【同一科目に同じコメントを載せています】アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。皆さんがパソコンやソフトの使い方を理解でき、発表にも楽しんで取り組んでいただけたことを嬉しく思います。改善点としていただいた意見は真摯に受け止め、今後はより一層丁寧で、異なる機種にも対応できる指導を目指してまいります。皆さんが安心して学べる環境を提供できるよう、引き続き努力していきます。
情報基礎演習Ⅰ（A）	前期	薦田・佐藤雅	【同一科目に同じコメントを載せています】アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。皆さんがパソコンやソフトの使い方を理解でき、発表にも楽しんで取り組んでいただけたことを嬉しく思います。改善点としていただいた意見は真摯に受け止め、今後はより一層丁寧で、異なる機種にも対応できる指導を目指してまいります。皆さんが安心して学べる環境を提供できるよう、引き続き努力していきます。
情報基礎演習Ⅰ（M-B）	前期	由水・薦田・佐藤雅	【同一科目に同じコメントを載せています】アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。皆さんがパソコンやソフトの使い方を理解でき、発表にも楽しんで取り組んでいただけたことを嬉しく思います。改善点としていただいた意見は真摯に受け止め、今後はより一層丁寧で、異なる機種にも対応できる指導を目指してまいります。皆さんが安心して学べる環境を提供できるよう、引き続き努力していきます。
情報基礎演習Ⅰ（M-C）	前期	由水・薦田・佐藤雅	【同一科目に同じコメントを載せています】アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。皆さんがパソコンやソフトの使い方を理解でき、発表にも楽しんで取り組んでいただけたことを嬉しく思います。改善点としていただいた意見は真摯に受け止め、今後はより一層丁寧で、異なる機種にも対応できる指導を目指してまいります。皆さんが安心して学べる環境を提供できるよう、引き続き努力していきます。
スポーツ総合（M-A）	前期	阿部 一也	バスケの回数が多かったのは確かです。きちんと他の種目と回数を分けます。ゲームでのチームの分け方については、こちらで指示するようにします。
スポーツ総合（M-B）	前期	佐藤 和裕	各種目の試合に必要な基本技術の習得とルールを理解してもらうことを意識しながら、前半は個人種目のネット型を中心に行ない、後半は集団種目のネット型とゴール型を取り入れ実技を行ってきた。アンケートでは、試合数を増やしてほしいという意見・要望があったので、今後の課題として改善していこうと思う。
スポーツ総合（M-C）	前期	米野 宏	バラスポーツの体験を取り入れたのは良かった。早く終わった回が2度ほどあったのが不満だったようで、反省している。
スポーツ総合（S-A）	前期	三嶋・天野	今年は控えめな学生が多い印象であった。より積極的にスポーツに親しめるよう学生の動機付けを工夫していきたい。
スポーツ総合（S-B）	前期	三嶋・天野	積極的に授業に取り組む学生が多く、進行しやすい授業となった。男子学生はハードに運動することが多いため、暑い日の授業日など特に熱中症対策に留意して実施していきたい。
スポーツ総合（D-A）	前期	石井 祐治	学生たちが満足できる内容にするよう、授業内容に幅をもたせていきたい。
スポーツ総合（A-A）	前期	小山 尋明	アンケートへの回答ありがとうございます。今後とも授業を通じて学生の皆さんの理解度が深まるよう、教材の工夫等をしていきたいと思います。
スポーツ総合（D-B）	前期	石井 祐治	学生が求める授業内容を展開していくよう、授業内容を検討していきたい。
スポーツ総合（A-B）	前期	小山 尋明	アンケートへの回答ありがとうございます。今後とも授業を通じて学生の皆さんの理解度が深まるよう、教材の工夫等をしていきたいと思います。

平面構成Ⅰ	前期	北嶋 洋一	シラバスに関して) 流れはシラバスに準じて進めたが、学生の作業速度が想定よりも時間を要したため修正が多かった。 講評の時間を犠牲にしまったので、これは次年度に改善を要する。 話し方・進め方について) アンケートではないが、進め方や話し方が早いとの指摘があったので、後期は留意したい。 板書やPowerPoint・配布資料について) 授業時に提示したPowerPointはそのままTeamへUPしておいたが、スライドショーをそのままアップしたことで少々見辛いところがあった。 見直し不足であった。 理解度の確認について) これもアンケートではなく、個別指導時に確認されたことだが、課題内容について理解不足を感じることが複数人であった。 分かりやすく図解したつもりではいたが、さらなる工夫が必要ということ。 授業の満足度について) とても満足できたが62%だが、アンケート回答率が90%以下だったので実質50%ほどと思われる。 まだまだ改善し更新する必要があるということであろう。
デッサンⅠ (A)	前期	西田 陽二	冷房が付いたことで学生のストレスが軽減出来、授業に集中したと思う。 デッサンは精神的な作業なので、環境を整えると能力を発揮出来るようになることがはっきりした。
デッサンⅠ (B)	前期	西田 陽二	冷房が付いたことで学生のストレスが軽減出来、授業に集中したと思う。 デッサンは精神的な作業なので、環境を整えると能力を発揮出来るようになることがはっきりした。
デッサンⅢ	前期	西田 陽二	冷房が付いたことで学生のストレスが軽減出来、授業に集中したと思う。 デッサンは精神的な作業なので、環境を整えると能力を発揮出来るようになることがはっきりした。
基本製図	前期	安藤・向井	アンケート回答ありがとうございます。初めての製図授業ということもあり、授業の進度については個人の習熟度に合わせて、確実にステップアップできるよう丁寧な指導を心がけています。工業高校出身者にとっては復習も兼ねた内容となっていますが、それぞれの習熟度に応じた配慮ができるよう引き続き努めます。
キャリアデザイン	前期	山本・河野・青山・星野	全学科大人数での授業を複数教員のリレー方式で行なったため、全体的な統一の面が難しかったことが反省される。アンケート回答からは、概ねキャリア教育の趣旨が届いたと言えそうではあるが、具体的な展開や教授方法の細かい面で再考の余地があると理解した。次年度に向けて改良を加えたい。
特別支援教育実習(事前指導)(4年)	前期	木村・千葉	実習の期間が重なったため、指導案作成の講義を終えてからの模擬授業という段取りにならない学生がいた。実習前の学生は指導案作成に悩んでいたが、実習後の学生は経験が生かされ、模擬授業は比較的スムーズだった。理論と実践のサイクルは大切だが、特に特別支援学校の実習前は、支援学校の生徒の実態や授業の実際についてもっと体験を積む必要性を感じた。
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	前期	富山・西野	アンケートの回答、ありがとうございます。、授業毎の学生へのフィードバックをブラッシュアップして理解度を深めていきたい。
精神医学と精神医療Ⅰ	前期	伊東 隆雄	この科目では(1)精神医学、精神医療の歴史、(2)脳および神経の生理・解剖の基礎、(3)代表的な精神障害を説明しました。試験結果を見る限り、個人差はあるものの概ね理解ができていたと思います。自由記述の回答について、担当教員だけでは対応できないことも含まれているため、事務局にも確認してもらいます。引き続き学びを深め、より良いソーシャルワークの在り方を考えるようにしてください。
立体構成Ⅰ	前期	梅田 力	学生コメントが多く書かれていて、多くの学生が楽しく、学びがある講義だったと回答してくれた。評価も9割が満足であると回答してくれた。参考作品のPPがためになったとのことだったので、さらに充実させていきたい。毎回の授業でおこなっている作品講評も楽しみだったとのことなので、こちらもより丁寧にやっていきたい。
イラストレーション基礎Ⅰ	前期	佐藤 正人	1年生前半の授業と言う事で初めて触れるイラストレーションの内容も多かったかもしれませんが、描き方や構図構成、着色について興味を持って作品作りに取り組む姿も多く、満足のいく授業として感じてもらえた点は良かったと思います。学生数も多い中での実習で個々のスキルに合わせたアドバイスをしているが、学生に対して見落として満足いかない生徒がいたのは気を付けて次回の改善を考慮したいと思います。

グラフィックデザインⅠ	前期	北嶋 洋一	シラバスに関して) 流れはシラバスに準じて進めたが、学生の作業速度が想定よりも時間を要したため修正が多かった。 講評の時間を犠牲にしてしまったので、これは次年度に改善を要する。 話し方・進め方について) 話をまとめるに、長々とした解説を行っていた感が否めない。 後期へ向けての反省点である。 板書やPowerPoint・配布資料について) TeamへのPowerPointのUPは、毎回行うべきであった。 但し、一部に版權に関わる画像を多用していたので、この点は如何ともし難かった。 理解度の確認について) フィードバックに時間を割くことがあまりできなかったもので、理解度の確認は課題を見るまではできなかった。 スケジュール管理が甘かったことを反省している。 授業の満足度について) とても満足できたが50%。 まだまだ改善し更新する必要があるということであろう。 後期のシラバスを一部変更することになるがAdobe系のアプリの簡単な技術指導も取り入れたいと思う。
グラフィックデザインⅡ	前期	林 春生	1 時間配分が適切ではない。6%→各個人の進捗度を確認しながら、適切に進行するように改善する。2 理解度を確認していない。3%→個人の理解度を個別に確認する。3 興味が持てない3%→授業内容に興味が持てるようにテーマや課題内容を吟味する。4 満足できなかった3%→誰でも興味が沸き、熱中できるように課題を選定する。
グラフィックデザインⅢ	前期	林 春生	1 シラバスを見ていない12%→第一回目の初めにバワボ等使って説明しているのだが、記憶に残っていないのか、説明の改善、工夫を行う。
漫画Ⅰ	前期	三上 いずみ	アンケート結果は概ね良好であった。授業内容や課題は毎年改善しており、授業のねらいは学生に伝わっていると感じる。学生の興味関心も高く、真剣に課題に取り組んでいた。学生は課題の講評に重きを置いており、フィードバックが重要であると感じる。マンガの基礎授業であることから、学生の能力の向上のため、今後も改善を続けたい。
ビジュアルデザインⅠ	前期	田中 靖之	今期は20数名の受講で、比較的個別指導が進んだと思います。ただ、商業デザインの特質を考慮するとプロセスチェックが不足がちで、せっかくのアイデアを十分高める指導ができなかったのが反省点です。「ダメ出し」ではなく、より創造力を活かせるデザイン技法を講義していきたいと思いました。
イラストレーションⅠ	前期	浩而 魅諭	まず、真面目で熱心な学生たちと授業を通じて出逢えたことに感謝致します。イラストレーションを仕事にしていく上での最も基本的な部分にしばらくこんで組んだ授業です。伝わる絵、のための色々な要素を時間をかけて取り組みました。ほぼ毎時間取り組んだ5分間クロッキーは陸上と言えば筋トレにあたる部分とも解釈でき、即効性はなく地味な活動。けれど継続により確実に力をつけることができます。学生たちはその学習も熱心に前向きに取り組んでいました。楽しんで取り組んでくれていた様子がアンケートから読み取れ、手応えを感じております。信じてついてきてくれた学生たちの熱意に感謝しております。今期の経験をもとに、指導計画をさらに練り上げ次年度の学生たちにはよりわかりやすく実感できる授業を展開して参ります。
イラストレーションⅢ	前期	佐藤 正人	3年生の授業という事でより実践・応用的な事を学ぶ機会として授業の組み立てでも考えて実施して来ましたが、多くの学生が満足いくと感じてもらえた事は良かったと思います。課題も学生にとって取り組みやすい内容となっていたと思うので、これからも個々の更なるスキルアップを目指すよう授業内容も更に良いものにして行きたいと思います。ただ気が付かないところで他の学生の授業態度で不満の意見もあったので、これから瞬時に対応して授業し易い環境を整えるよう配慮して行きたいと思います。
映像表現Ⅰ	前期	北嶋 洋一	シラバスに関して) 流れはシラバスに準じて進められた。 話し方・進め方について) 鑑賞が授業の半分を占めているので、モノの見方を伝えるよう心掛けた。 理解できたが50%では、もう少し工夫が必要と考える。 板書やPowerPoint・配布資料について) TeamへのPowerPointのUPは、毎回行うべきであった。 但し、一部に版權に関わる画像を多用していたので、この点は如何ともし難かった。 理解度の確認について) 提出課題を着る限り、必要な内容はほぼ伝わっていたものと判断する。 但し、飛び抜けた者が出なかったという結果も受け止めている。 授業の満足度について) とても満足できたが57%。 まだまだ改善し更新する必要があるということであろう。 どうしても映像が好きなのが対象になってしまう内容になるので、そうではない者にも満足して授業を受けられる工夫をしなければならない。
コンテンツデザインⅠ	前期	上坂 恒章	この科目は、3年生前期に設定しており、事前学習、事後学習を進めるようにテキストを指定し、特に後半は、テキストに従って進めている。指定テキストは、基礎であり決して難しいものではなく、主体的に学ぶことを求めており、学ぶ意思があれば容易に修得することが可能である。最終課題に関しても、テキストに準じているので、容易にできる。(3年生前期後半で就職を考えると理解できないと困る)但し、主体性・理解不足を補う上で学生同士が協力し学びを構築するピアラーニングを導入している。 主体的な学び、問題解決能力を養う上で、更に、改善して進めたい。

技法・材料研究Ⅰ	前期	安田 祐造	授業担当者として、十分なご指導を行えなかったと思っていましたが、思いのほかの高評価を得られて嬉しいです。この授業をきっかけに、将来にわたり絵を描き続けてほしいものです。
彫刻Ⅰ	前期	梅田 力	今年も積極的に学生は制作に取り組んでくれた。昨年度より、作品のサイズを大きくして難易度を上げる試みをしているが、制作時間が足りなかった学生が複数人いた。ただ個人のスケジュール管理の面で、まだ改善の余地があるので、オリエンテーションでその大切さをより強調して伝えて、時間内に満足のいく作品ができるように促していきたい。
漫画Ⅲ	前期	五十嵐・鴨	回答結果は概ね良好でしたが、授業の時間配分について低い評価があった点が大きな反省です。マンツーマンで課題制作等のアドバイスをする中で授業時間内にアドバイスが間に合わなかった学生を次回に持ち越す事があったため、時間配分を調整し学生全員としっかりやり取りできるように努めます。
彫刻Ⅲ	前期	国松 明日香	1Q,2Qともほぼシラパス通り授業を進めることができた。併せて2課題の授業でそれぞれ一回ずつ中間アドバイスの機会を設け、作品の完成への参考としてもらった。受講学生の学習態度そして意欲もとても好感が持てた。授業の課題から派生するアートについての私の考えもなるべく伝えるようにした。ただ今回は参考作品等を見せる機会が若干足りなかったのもので、次回からはもう少し増やしたいと思う。
住宅設計演習Ⅰ	前期	君 興治	プレゼン用のソフトでパースを描くと、ソフトが上手に建築的な画像を描いてくれるため、学生が建築を理解していなくても、理解したように錯覚してしまい、設計や製図を根本的に理解せず、さらに追求して学習しなくなってしまうと考えています。なので、住宅設計演習では、設計の根拠とした「考え方」に重点をおいて指導しています。パソコンの作業だけでは行き届かないような設計の考え方を文章や手描きでも表現できるようにし、また常に設計の根拠を考えることを習慣とするように、教員とだけでなく、学生同士も意見を言い合うことも取り入れ、互いに向上するような効果があるように働きかけています。
建築設計演習Ⅲ	前期	向井 正伸	アンケート回答ありがとうございます。上級学生としてより説得力があり共感を生む設計やプレゼンテーションを身につけてもらうべく、公共性の高い建物に取り組んでもらいました。引き続き、皆さんが情熱を持って取り組めるよう指導に努めます。
図学	前期	赤木 良子	コメントはポジティブなものが多かったのですが、2点以下の要望がありました。まず、具体的な作図指示 という点ですが、作図方法にはいくつかあり、教科書と配布資料には具体的な作図方法を示して、口頭で個別に説明もしました。しかし、その上で作品を作るということでもあり、その先は工夫してもらいたかった意図があります。説明が分からなかった場合には、また、説明を追加しようと思います。2点目は、具体的な日数配分を明示してほしい。ということですが、人によって全く進捗やスピード、理解度が違う上に、人数が多い授業になりますので、日数配分をしてもその通りになりません。実際、配分を何度もしましたが、変更せざるを得ませんでした。それよりも、日程を決めて早い人も遅い人も、そこできっかり提出、出せないものは不可、とはっきりした方が良いでしょう。私はそれよりも、自分で予定を立てて、時間が足りない分は、自宅で作業するのが本来の学びだと思うので、それを理解してもらえたらと思います。よろしくお願いします。
図学(建築図学を含む)	前期	赤木 良子	コメントは概ねポジティブなものが多く、皆さんが楽しく学習できたと思いました。難しかったというコメントがありましたが、それなりに皆さんが、努力していたと思います。また、人数が多く、個人差が激しかったため、授業の進行には難しさもありましたが、皆さんが理解してくれていたのもので、助かりました。ありがとうございました。
建築表現Ⅰ	前期	安藤・君	学生に理解度が深まるように指導の補助を行う
一級対策製図Ⅰ	前期	君・向井	一級建築士コースについては、資格自体のレベルが高いため、授業内容もおのずと難しくなるが、それ以前に学生が過去問題を見ただけで、難しさに意欲を無くしてしまっている傾向がある。二級建築士試験にも合格していない学生がほとんどのため、授業内容よりもまず、試験への心得や二級建築士レベルの指導から行い、基礎製図力を上げることに努めている。
二級対策製図Ⅰ	前期	佐藤善・向井	この授業は、その名のとおり「建築士製図対策」です。学生も一般の製図の授業とはちょっとアプローチが違うので戸惑ったことでしょう。授業で話したとおり、資格製図対策には独特の解釈や暗黙の了解というがあるので、それらをエスキスに散りばめた内容になっています。後期のⅡでは更に実践形式で進めていきます。
CAD演習Ⅱ	前期	君・向井	建設業界においてDX化が推進される中で、活用が期待されるBIM「archicad」の使い方の基礎について、演習を通して学ぶ授業である。全体の進捗度に合わせた授業を展開したが、時々、PC性能差や習熟度によって進捗度に大きな差が生じたことがあったため、より良いPC環境整備やつまづくポイントの周知など改善に務める。
建築表現Ⅲ	前期	安藤・君	学生に理解度が深まるように指導の補助を行う

建築表現Ⅴ	前期	安藤 淳一	ポートフォリオの作成と同時進行で課題作成の負担は大きいかと思いますが、新たな道具を用いこれまでにない作品作成は、プレゼンのスキルを広げてくれると思います。次年度も何とか作品作成につながるような授業を展開したいと思います。
球技Ⅰ(バスケボール)	前期	天野 雅斗	今後より一層保健体育教諭としての実技・指導能力が上がるよう、中間試験を行うなど適時ハードルを設定し学生の技術向上を図る。
球技Ⅱ(バレーボール)	前期	天野 雅斗	今後より一層保健体育教諭としての実技・指導能力が上がるよう、中間試験を行うなど適時ハードルを設定し学生の技術向上を図る。
球技Ⅳ(ソフトボール)	前期	米野 宏	8～16%の学生は理解や興味が持てていないのが反省点である。
イラスト漫画概論Ⅰ	前期	竹内 美帆	全ての設問で「適切だった」以上が100%、特に「とても適切だった」が70%以上となり、多くの学生にとって満足のできる授業が出来たと感じていただけたことと解釈しました。昨年度よりもグループワークを多く取り入れましたが、それに関してはおおむね理解力や関心共に高まったと感じています。なお、グループワークが終わった後の対応については、グループワークの進め方や、話し合いが終わってしまったグループへの声掛けをどうするかについて教授法を学んで改善していきたいと思います。
写真表現Ⅰ	前期	林 春生	1 シラバスが適当でなかった5%→次回は丁寧に細かく説明する。 2 話し方が適切ではない5%→話し方のテンポや口調、速さに気を使って丁寧に言う。 3 時間配分適切ではない5%→貸出できる機材が足りないので、待ち時間が発生してしまった。時期予算に計上して滞りなく進めるよう配慮する。満足出来なかった。5%→もっと魅力があって、技術を確実に取得出来るように計画する。
日本画	前期	岡 恵子	ほぼ全員の履修生が日本画や日本画画材に触れるのが初めてという条件で、短い時間内に自分の作品主題や構成を決め、写生をし、彩色を進めていくことには、かなりの困難があったと思うが、どの履修生も興味を持って積極的に取り組んでくれたように思う。ただ絵を描くだけではなく、制作を通して日本画の用具や色材への知識教養も養いレポートにまとめて行くことも並行して行った。この経験をこの後大学生活や社会生活で生かして欲しい。
洋画	前期	安田 祐造	自分ではあまり良い授業を行えたと思っていませんでしたので、皆さんの高評価に驚いています。これからもっと良いものを目指します。
社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	前期	塩崎 大輔	アンケート結果に関しては概ね「満足」という結果を得られたが、「板書やパワーポイントの字や図の表現は適切でしたか。」というところで、改善の必要性が見受けられた。そのため、来年度には講義資料等の見直しを行う。
社会科・公民科教育法Ⅰ	前期	松下 守邦	公民科教育法前期(1Q+2Q 週1回)にて、授業づくり理論編の授業プログラムとなりました。授業外学修(テキスト、参考資料、Teamsファイル)を準備学修し、授業参加をもとめましたが、ていねいに学修されました。個別学習支援ができるよう、授業設計をすすめてまいります。
美術科教育法Ⅰ	前期	竹内 美帆	多くの学生にとって授業の内容や進め方が「適切だった」と判断していただけたと解釈しました。担当者の学会出張等で休講があり、通常の進め方ではなく内容が複数回にまたがる等、ご不便をおかけした点は申し訳なかったと感じています。また、やはり時代区分によっては90分の授業で終わらず複数回にまたがることも多いため、プリントの内容も見直し変更していく必要があると感じました。スライドについては、コメントにもあったようにわかりやすいという評価がいただけたため、今後も見やすいスライドづくりと説明を心がけようと思います。
工芸科教育法Ⅰ	前期	三上 いずみ	今年度からこの科目を担当し、できるだけ多くの題材を取り上げたがまだ授業内容の組み立てが十分ではなかった。学生のアンケートやレポート、授業成果を良く振り返り、改善していく。
保健体育科教育法Ⅰ	前期	高井 雅一	グループ学習を中心に授業を展開し仲間と協力しながら、自主性や協調性を身につけさせようとしたが、欠欠を含む欠席者が多く補講を行ったが同じグループが維持できなくまとまりに欠けました。PCで課題を共有するなど改善していきたい。
芸術へのアプローチ	2Q	梅田 力	昨年度より受講する学生が大幅に増え、やりがいのある講義でした。毎回多くの学生がノートをしっかりとり、Teamsにて共有してくれて、私自身も学びがあり、毎回とても楽しい講義となりました。話が盛り上がりすぎて、授業終了ギリギリになってしまい、パス等に影響が出たことがあったそうなので、来年は時間配分を気をつけたいと思います
政治学入門	2Q	後藤 啓倫	受講生の皆さん、授業大変お疲れさまでした。アンケートの回答にご協力いただきありがとうございます。授業をしっかり聞いたうえでのコメントを本当にありがとうございます。とくに質問への回答時間についてのコメントがあり、よりよい方法を考えます。政治のことをより身近に感じてもらえるよう、皆さんからいただいた貴重なご意見を、今後の授業に生かしてまいりたいと思います。

日本国憲法（M）	2 Q	青山 浩之	日本国憲法は、第2クォーター木曜日1講目と金曜日4講目の科目で、履修者72名、平均出席者55.8名（平均出席率77.5%）という状況で、回答者が53名であった。欠席（公欠含む）が各回16名（22%）と出席状況が悪く、特に木曜日1講目は顕著だった。授業スキルの評価は、特に設問1「シラバス」設問4「板書等」設問5「資料・教科書」では好評価を受けた。授業の全体印象に関する評価では、設問7「関心」設問9「熱意をもって授業に取り組んだ」設問10「全体満足」は好評価を受けました。設問11「自由記述」では前年同様に「穴埋めにするにしても穴が小さすぎ」と指摘を受けた。今後プリントではなくはノートに書くように講義の進め方を検討する。
日本国憲法（S・D・A）	2 Q	後藤 啓倫	受講生の皆さん、授業大変お疲れさまでした。アンケートの回答にご協力いただきありがとうございました。毎回の授業ではお題なしの自由な感想を提出してもらおうといった難しめの作業をしてもらっていましたが、おもしろいコメントや鋭い質問が回を重ねるごとに登場し、皆さんの成長を感じることができました。憲法のことをより身近に感じてもらえるよう、皆さんからいただいた貴重なご意見を、今後の授業に生かしてまいりたいと思います。
数学入門	2 Q	横山 哲也	学生が前向きに取り組める講義の工夫を行うようにする。
統計学入門（M）	2 Q	伊藤 裕康	できるだけ履修者の疑問や質問に答え、困っている様子の履修者には声掛けをして理解向上に努めました。まだ完全とはなっていないようです。今後も、可能な限り机間巡視をして、履修者の理解向上に努めたいと思います。
統計学入門（SDA）	2 Q	伊藤 裕康	できるだけ履修者の疑問や質問に答え、困っている様子の履修者には声掛けをして理解向上に努めました。まだ完全とはなっていないようです。今後も、可能な限り机間巡視をして、履修者の理解向上に努めたいと思います。
法学	2 Q	青山 浩之	法学入門は、第2クォーター水曜日2講目と金曜日5・6講目の科目で、履修者81名、平均出席者66.2名（平均出席率81.7%）という状況で、回答者が62名（回答率76.5%）であった。授業スキルの評価は、特に設問1「シラバス」設問では好評価を受けた。授業の全体印象に関する評価では、設問10「満足度」については好評価であった。設問11「自由記述」では「人が多すぎて窮屈なので大きい部屋を使いたい」「授業は席指定にした方がいい。後ろ側がうるさすぎ」と指摘を受けた。配布資料を見やすく改善し、1年生の履修科目であるので、興味や関心を持てるように工夫していきたい。
基礎英語Ⅱ（M-信濃）	2 Q	信濃 吉彦	概ね好評価でありがとうございます。英語は最も好き嫌いが出る科目ですので、楽しめないという意味がない。やれば必ずできるようになります。今後も頑張ってください。
基礎英語Ⅱ（M-岡島）	2 Q	岡島 徳昭	授業中、学生が質問しやすい雰囲気になるようさらに工夫をしていきたい。又学生の質問に対し、易しい例題を示し、質問者が容易に理解できるよう努めたい。
基礎英語Ⅱ（M-石田）	2 Q	石田 暁子	前学期の「基礎英語Ⅰ」より明らかに難しい内容でしたので、進行速度に気がつけました。その点が受け入れられていたことが良かったです。
基礎英語Ⅱ（M-井坂）	2 Q	井坂 肇	授業の理解度、満足度は概ね良好であった。日本語がテキストに無く難しい指摘もあったので基礎英語Ⅱでは翻訳を配りながら授業を展開したが、それでも授業の進度はやや早かったように思われる。期末テストの成果を確認すると、十分に理解できてはいないことが分かった。次年度は文法の確認問題についても問題数を増やし、学生の知識の定着について確認しながら進めたい。
基礎英語Ⅱ（SDA-西崎）	2 Q	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足した」以上が97%、「熱意」は、「そう思う」以上が100%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が100%でした。「先生がわかりやすくプリントに要点を纏めてくださったので文の構成をよく理解できた点良かった。」「小テストや課題で復習もしっかりできる機会が与えられていて良かった。」「分からないところを随時気に掛けてくれてありがたかったです。」「時間配分や理解度の確認がとても丁寧だったと思う。」「先生が色々な配慮をしてくれるところがとても良かった。」等の評価を励みに一層の改善・充実に努めます。
基礎英語Ⅱ（SDA-宮嶋）	2 Q	宮嶋 達也	授業が学生にとって楽しく実用的である一方で、改善を望む点として情報提供のタイミングや交流の多様性が挙げられている。授業が多くの学生にとって自信を養う良い機会となっていることは確かですが、更なる学びの機会を提供するためには、幾つかの構成の見直しを考えていきます。
基礎英語Ⅱ（SDA-横田）	2 Q	横田 肇	いつも通り、極端な低評価の項目はないが、興味・関心と満足度がやや低い。英語としては人数が多い（37名）クラスなので、全員の要望を満たすことは困難であるが、できるだけ多くの学生が理解でき、満足が得られる授業を 今後も工夫したい。また、英語力の底上げにも努めたい。
基礎英語Ⅱ（SDA-井坂）	2 Q	井坂 肇	授業の理解度、満足度は概ね良好であった。日本語がテキストに無く難しい指摘もあったので基礎英語Ⅱでは翻訳を配りながら授業を展開したが、授業を困難に感じる学生は一定数おり、学習が定着しなかったように思われる。期末テストの成果を確認しても、十分に理解できてはいないことが分かった。次年度は文法の確認問題についても問題数を増やし、学生の知識の定着について確認しながら進めたい。

英語入門Ⅰ（M）	2 Q	石田 暁子	他の英語の授業と比較して履修学生が多かったため、一人一人に目が届かない部分があったと思います。期末試験の結果が予想を上回っており、学習への真剣さが十分に伝わってきました。
英語入門Ⅰ（S）	2 Q	横田 肇	この科目を担当してかなり年数が経ち、毎年同じテキストを使い、同じような説明をしているが、今回が一番評価が良かった。少人数のクラスであり、比較的意欲的で理解力のある学生が揃っていたことが要因のように思う。良い授業のためには教員の努力も必要だが、同時に学生の意欲と態度も必要であることをあらためて認識した。
英語入門Ⅰ（D・A）	2 Q	宮嶋 達也	授業が学生にとって楽しく実用的である一方で、改善を望む点として情報提供のタイミングや交流の多様性が挙げられている。授業が多くの学生にとって自信を養う良い機会となっていることは確かですが、更なる学びの機会を提供するためには、幾つかの構成の見直しを考えていきます。
中国語入門Ⅰ	2 Q	孫 暢	やはり人数が多く、一人一人の発音練習が難しかったです。もし人数30人以下（クラス分けでも）を制限できれば、より良い授業成果を期待できると思われます。
日本語Ⅰ	2 Q	佐藤恵・高橋	アンケートのご回答ありがとうございました。日本語Ⅰの授業が皆さんの大学生活や私生活に役立ってくれと嬉しいのです。今回アンケートにいただいたご意見を参考に、来年度に反映させたいと思います。
心理学	2 Q	吉澤 英里	アンケートに回答をいただき、ありがとうございます。全体として概ね良い評価を頂けて良かったです。その一方で、改善についてのご提案も寄せられましたので、その点については次年度の授業改善に活かします。
貧困に対する支援	2 Q	星野 秀治	テストでは生き生きとした論述ありがとうございました。聞き取りやすいという意見があった一方、声が小さいという指摘もあったので、マイク音量などを調整して工夫していきます。
高齢者福祉	2 Q	櫻井 美帆子	内容が盛りだくさんで、覚える事も多くて大変な科目だったのでは、と思いますので、不明な点等あればいつでも声をかけて下さい。授業中、パワーポイントが上手く作動できなかった事が何度かありました。その際は皆さんが色々とお力を貸してくれたので、とても助かりました。ありがとうございます。
刑事司法と福祉	2 Q	西野 克俊	満足度として、とても満足できた53%、十分満足できた12%、満足できた28%、あまり満足できなかった3%、満足できなかった3%となっており、一定程度満足していただけた内容になっている反面、満足できなかった学生もおり、さらなる改善が必要と考えます。今後わかりやすく説明できるよう、さらなる向上を図りたいと思います。
色彩環境論	2 Q	安田 祐造	久しぶりの色彩に関する授業、なかなか計画通りにはいきませんでした。おおむね好評価をいただきましたが、良いところは伸ばし、改善すべきことについては工夫をします。
西洋美術史Ⅰ	2 Q	竹内 美帆	全ての設問で「適切だった」以上の回答があったことで、授業の内容が適切に伝わり理解していただけたものと解釈しました。受講学生が前々年度の2倍になったため、お互いにディスカッション等をする機会も増え、多面的な授業にすることが可能となりました。後期も、本授業の内容を発展させ、鑑賞教育や模擬授業につなげていきたいと思います。
建築材料	2 Q	小笠原 健	建築材料は、1年生では数少ない建築学科の必修科目であり、建築士試験単位認定科目でもあります。また、専門科目を今後学んでいく上で、基礎的な科目であるため、今後の専門科目の履修に向けて、専門用語などを板書により詳しく説明し、また、ノートに転記させ、記録に残すことで今後に役立ててもらうことを目的としています。よって、板書量は多めになりますが、教科書を要約し、また、教科書に書かれていない事例や用語の意味及びなぜ必要であるのかなどを現実感を持たせながら講義を実施いたしました。結果として、履修学生の9割以上の学生から、満足以上の高評価を頂きました。なお、プロジェクターを使用する講義もあるとは思いますが、ただ眺めて記憶に残らない状況だけは避けたく、現行通りの教科書と板書中心でこの講義は今後も継続していきたいと考えています。
建築構造力学Ⅰ	2 Q	長森 正	授業改善アンケートのご協力ありがとうございます。授業内容の理解度、満足度ともに高い評価をりましたが、試験結果では理解不足者が2割程度見受けられました。配布した演習問題はteamsに模範解答を添付したことは好評との評価でした。板書の文字が見にくいとの意見は改善します。授業内での理解度を確認しながら丁寧な授業進行に努めます。

建築施工	2 Q	小笠原 健	建築施工は、3年生の建築学科必修科目であり、建築士試験科目の一つでもあります。すでに在学中に二級建築士試験ならびに一級建築施工管理技士補試験を受験する学生もあり、また、卒業試験の4科目のうちの一つとなっているため、非常に重要な科目であります。建築学科に所属している以上は、最低限の知識を身につける必要があります、建築業界へ就職するための必要なスキルを得るためにテキストによる説明ならびに小テストを毎回実施する実践型授業を行ってきました。最低でも二級建築士レベルの実力の確保を目的として、ほぼ例年通りのカリキュラムを終えることが出来ました。アンケートでも9割以上の履修学生から、満足以上の高評価を得ており、今後も引き続き、同様の講義形式にて、次年度以降も実施していきたいと考えています。
簿記論	2 Q	川津 大樹	授業の進行スピードと難易度に関する意見を多くいただきました。 昨年に引き続き見直しを進めましたが、取捨選択を進めて要点だけにまとめ、その分だけ問題演習の時間を取るようにします。
経営組織論	2 Q	信濃 吉彦	概ね評価いただいたのはありがたいです。ノートの量は減らせません。だって勉強してないでしょう？ノートを減らしたらまったくやらないよね。ノートの採点基準は、ポイントを押さえて綺麗にわかりやすく作成されているか。十分な量があるか。です。例えば指定し料以外からも学習の後が読み取れるかどうかは非常に大きいですし、汚い字でヤツツケ仕事のものは評価は低くなります。過激な発言はできるだけ控えるようにします。
社会福祉の原理と政策Ⅱ	2 Q	小早川 俊哉	授業の進捗が早いとのコメントもありましたが、科目の性質上、伝えなければならないポイントが多数あることから、ポイントにメリハリをつけて講義時間を配分していることに気付いてください。どこが重要なポイントかを理解することも学びの一部です。
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ (M)	2 Q	櫻井 美帆子	元氣よく反応してくれるので、授業がすすめやすかったです。ありがとうございます。ややこしい部分も一部あったと思いますので、もし忘れた場合はいつでも声をかけて下さい。
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ (S)	2 Q	櫻井 美帆子	元氣よく反応してくれるので、授業がすすめやすかったです。ありがとうございます。ややこしい部分も一部あったと思いますので、もし忘れた場合はいつでも声をかけて下さい。
ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	2 Q	大島 康雄	評価の基準ですが、同じ点数の場合、Sが10%、AがSを含め40%という決まりがあり、減点方式を採用するしかない状況です。そのため上位の方から点数を決めていくことになります。ご不満があるのはよくわかります。改善に向けて組織単位で取り組めたらと思います。
現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2 Q	畠山 明子	コメントありがとうございます。今期は体調不良により、休講が多くなってしまい申し訳ありませんでした。より理解が深まる教材研究を工夫し、取り組んでいきたいと思っています。
精神保健福祉の原理Ⅱ (1年)	2 Q	西野 克俊	満足度として、とても満足できた82%、十分満足できた9%、満足できた9%、一定程度満足していただけた内容になっていると考えます。 今後も工夫し、さらなる向上を図りたいと思います。
精神保健福祉の原理Ⅱ (2年)	2 Q	西野 克俊	満足度として、とても満足できた25%、十分満足できた42%、満足できた25%、あまり満足できなかった8%、一定程度満足していただけた内容になっている反面、満足できなかった学生もあり、さらなる改善が必要と考えます。 板書に対する意見もいただいたため、意識しさらなる向上を図りたいと思います。
保育者論	2 Q	平山 拓也	学生も基本的には授業に集中しており、私語もなく予定通り進められたと思う。 また、こちらが話していることに頷くなどのリアクションもあり、とても教えやすかったですのではないのでしょうか。 授業としてはもう少し、映像などを活用して、言葉だけでなく視覚からも学ばせてあげられれば良かったかと思っています。
肢体不自由者の心理・生理・病理	2 Q	坂上 俊樹	常に、全ての受講生に満足してもらえる授業をと心がけていますが、とても難しいことだと痛感しています。授業内容が医療にかかわり多岐に亘るため、今後も提供資料や説明等に工夫をしていきたいと思っています。
聴覚障害教育総論	2 Q	室岡 弘明	多くの受講生の皆さんに授業内容を理解してもらえたようで安心しました。今後はパワーポイントの字や図の表現について改めて確認し、適切な表現になるように工夫します。また、聴覚障害教育の経験談や視覚的教材を多くして興味や関心が持てるように講義をしていきたいと思っています。
精神保健福祉援助演習Ⅱ	2 Q	畠山・西野	アンケートの回答、ありがとうございます。、授業毎の学生へのフィードバックをブラッシュアップして理解度を深めていきたい。
子どもの食と栄養	2 Q	湯浅 頼佳	概ね良い評価を頂きましたが項目により「適切でなかった。」との意見もあったので、次年度はこの点にも注意し進めていく所存です。

病弱教育	2 Q	千葉 聡美	病弱教育については支援学校・院内学級、支援学級、通常学級、訪問教育と教育の場が広く、病状によって一人一人の配慮や教育内容が違うため、学生にとっては難しく感じているようだ。模擬授業の時間を取らない分、動画やグループワークを入れるようにしているが、もう少し演習的な内容を工夫したい。
発達障害等教育総論	2 Q	堀川 厚志	より一層関心が持てる内容となるよう、内容改善、資料作成を充実していきます。
社会思想史	2 Q	後藤 啓倫	受講生の皆さん、授業大変お疲れさまでした。アンケートの回答にご協力いただきありがとうございます。思想という難解なテーマに関わらず感想や質問を投げてくださり、また授業中の急な問いかけにも真剣に考えてくださるなど、4年生になってからの皆さんの急成長ぶりに圧倒される授業でした。今回皆さんからいただいた貴重なご意見を、今後の授業に生かしてまいりたいと思います。ありがとうございました。
子どもの理解と援助	2 Q	吉江 幸子	「子どもの理解と援助」科目の履修、ありがとうございます、お疲れ様でした。子ども理解にはまず自己理解から、という視点で進めました。1講目の授業であっても出席率が高く、ほぼ100%でした。授業に対する満足度や皆さんの興味関心ある内容に触れられたのだと思っています。後期には実際に保育園児と遊ぶ体験も待っていますので今回の学びも活かし、モチベーションの維持を期待しています。
スクールソーシャルワーク演習	2 Q	上原 正希	少人数での演習授業のことから、対話をしながら継続して授業を実施していきたいと思っています。
身体表現	2 Q	尾西 則昭	貴重なご意見ありがとうございました。学生からの改善、要望等について、たくさんのご指摘がありましたので今後は、満足のいくような授業展開、そして一部の学生だけ話しかけるのではなく全体に話しかけるように気を付けて行きます。ありがとうございました。
乳児保育Ⅰ	2 Q	吉江 幸子	「乳児保育Ⅰ」の履修、お疲れ様です、ありがとうございます。留学生も一緒に授業でしたのでグループワークを多くし、皆さんの協力のもとコミュニケーションを取りながら進めることができました。今回の講義編を土台に後期は「乳児保育Ⅱ」で乳児の生活支援演習を行います。次年度に保育実習を控えている学生にとっては乳児クラスに入る際のシミュレーションにもなりますのでトライしましょう。
子育て支援	2 Q	杉本 大輔	学生からのコメントがないということは凡庸な講義であった証左、猛省する。
基礎デザインⅠ	2 Q	林 春生	シラバス見ていない2%→一回目の授業で説明したので、改良の余地なし。 授業の進め方が適切ではない2%→一人一人直接指導しているため、多少待たせてしまった部分があった。時間短縮を計画する。興味や関心が無い2%→授業開始時に授業の大切さ、重要さを具体的に説明する。理解できなかった4%→個別に理解が難しい学生に指導する。満足していない。4%→内容は難しいが、真剣に取り組んで行けば必ず理解できることをしっかり教える。
エディトリアルデザインⅡ	2 Q	梅田 真紀	エディトリアルデザインⅠと比較して、全体的に高評価でした。改善の結果が出ていると思います。デジタルデータの取り扱いにはトラブルはつきもので、時間もかかりますが、みなさんがよりスムーズに扱えるように配慮したいと思います。
キャラクターデザインⅠ	2 Q	三上 いずみ	アンケート結果ではあまり満足できなかったが3%あった。心に留め置きたい。授業内容は毎年改善しており今年度は本課題の前の準備課題を設定することで理解しやすくなるよう工夫した。授業内容は段階的に構成しており、欠席すると難しい場合がある。そのため授業内容はすべてTeamsに格納しているので有効活用してほしい。取り組み方の姿勢で成果は大きく変わるのでその点も踏まえ今後も改善していく。
インテリアデザインⅡ	2 Q	安藤 淳一	インテリアデザインⅡの特徴は学外に出て、メーカーや企業のショールーム見学から多くのことを学ぶことにあります。次年度も協力していただけるメーカーを確保し、多くのものを見ることのできる機会を創出したいと思います。
造形論Ⅰ	2 Q	松岡 龍介	この科目は、将来、美術やデザインの専門家として社会で活躍しようとする学生が、在学中に最低限身につけてほしい、知識や、見方、感じ方について、毎回、テーマに沿ったレポートを制作することによって、書き言葉を含めた言葉として各自が“まとめ”る力を養うことを目的としています。したがって、内容は、広汎なテーマを設定します。また、本科目を受講するにあたり最低限の美術に関する用語の知識も必要になると思います。
保育内容演習Ⅰ(健康)	2 Q	宮崎 剛司	授業の個性(雰囲気)や理解度に合わせたばかりに、シラバス通りにいかなかった点について反省している。これを改善するために、適宜授業のアンケートや希望を実施する。
保育内容演習Ⅲ(環境)	2 Q	佐藤 慶知	アンケートの内容を参考に今後の講義にいかしていきたいと考えております。

保育内容演習Ⅳ(言葉)	2 Q	太田 俊一	本学での授業は初めてということもあり、いろいろと戸惑うことも多かったのですが、教育研究支援課の皆様をはじめ、事務職員の方々からの手厚い支援のおかげで何とか最後まで授業を進められ、心から感謝しております。また、履修している3年生が私の不慣れなところを、さりげなくカバーしてくれたのが、とても嬉しく思っています。3Qに向けさらに授業満足度を上げられるよう努力したいと思っています。
建築材料実験（1年）	2 Q	長森 正	授業改善アンケートのご協力ありがとうございます。今年度から1年生での履修になり、コンクリートと鋼材の基礎知識を説明してからの実験となりました。理解度、満足度ともに高い評価となりました。初めて建築関連の実験で楽しめたこと、グループ作業での協力の重要性などの意見がありました。さらに実験の理解度が向上するように努めます。
一級建築士演習Ⅱ	2 Q	安藤・佐々木哲	学科Ⅱは計画系の科目であるため、建築、建築家等の画像情報とともに取り組む方が理解しやすいと思い試みました。次年度以降はさらに、情報量と内容を精査し、より理解に繋げられるような解説に取り組んでいきます。
鉄筋コンクリート構造	2 Q	長森 正	授業改善アンケートのご協力ありがとうございます。演習問題の丁寧な解説をこころがけながら実施しました。自由意見では資料など多様に活用して理解しやすいとの評価がありました。一方でパワーポイントのフォントが読みにくいとの意見があり改善します。
建築法規Ⅲ	2 Q	佐藤 善太郎	建築法規Ⅲは、資格試験でもメインの出題範囲の箇所にあたります。多分建築に携わっている限り、よく目にするところでしょう。一部学生が煩いとのことでした。私自身はさほど気になることはありませんでしたが、今後は（法規Ⅳでは）気を付けて進めていきます。また、見ている限り教室の前の方に着席している学生ほどちゃんと聞いてるし、成績も良いような気がします。
建築の職能と倫理	2 Q	君 興治	難しいイメージが先行して、興味を持たれづらい科目であるため、実際に身近にある建築の問題を題材にあげることで、自分の考えだけでなく、その背景や環境までを考えることができるような倫理観を身につけるように指導しています。まず知っている世の中の建築的な問題や、都市問題を中心に情報を集めて、そこから人のため、世の中のためを優先して考えることができるような考え方ができるよう、グループ学習も加えて行っています。受講人数も多いが、毎回の提出物に一人一人コメントを書き、個人と向き合った指導を行っています。
職業指導（M）	2 Q	川津 大樹	就職活動に役立ったというご意見をいただいております、この方針を今後も続けます。オンライン講演会（特別講演）については、進行をスムーズかつ受講生に聞きやすくするために、今度もやり方を考えていきます。その他、大学設備に関する問題は、大学側にもその都度伝えています。
建築設備Ⅱ	2 Q	君 興治	資格試験だけを対象にした授業をすると、根本的なことを理解せず、試験の範囲だけを一時的に丸暗記してしまうことが多く、応用的に考えることができなくなるおそれがあるため、卒業後のことを踏まえ、実務的なことも経験してもらいたいと考え、作図の内容を多く取り入れています。
建築積算	2 Q	佐々木 哲之	アンケート結果は概ね満足できる結果であった。建築工事種別ごとに説明し、問題を解き解説する方法を取っている。そのため、学生の理解度を確認することに重点を置き授業を展開していたが「問題の演習を解く際にもう少し全体の理解度をチェックしてほしいです。」との意見があり、時間配分を含めもう一度検討したい。
スポーツ社会学	2 Q	戸佐 晃一	スライドの進みが早くてノートを取るのが大変だったという指摘が多かったので今後は確認しながら進めていきたいと思います。
スポーツ社会学（SP）	2 Q	戸佐 晃一	スライドの進みが早くてノートを取るのが大変だったという指摘が多かったので今後は確認しながら進めていきたいと思います。
日本経済史	2 Q	小林 大州介	第二Qお疲れさまでした！ 試験もまずまずだったと思います。この調子引き続き頑張ってください。
スポーツ心理学	2 Q	佐藤 和裕	スポーツにおける心理学の基礎理論と実践的応用について理解してもらうことを意識し、毎回プリントを配布しプロジェクターを使用しながら丁寧に分かりやすく説明を心掛け、授業の最後には必ずリフレクションを行ない授業の理解度を確認した。今後は事例から自分自身へ適用出来るように工夫をしていきたい。
経営情報論	2 Q	薦田 勇智	アンケートへの回答、ありがとうございます。分かりやすいレジュメの作成に最善を尽くし、全ての学生が内容を理解できるような授業を提供することに専念しました。現代社会において、情報の適切な取り扱いがますます重要とされています。特に生成AIとはうまく付き合って「利用」していただください。
ミナ経済学	2 Q	河野 善文	教室環境について、「暑すぎて」というコメントがありました。今回は、履修人数の関係でクーラーのある教室を使用できませんでした。次年度以降、また調整したいと思います。

ビジネスプランニング論	2 Q	猪尾 紀幸	創業計画書を作成することを目標とした本講義では演習、個々への質疑応答等を通し企業経営、起業の具体的なイメージを持ってもらい将来の就業や起業に活かされればという思いで講義を進めました。経営学部必修科目などで学んだ知識を活かし創業計画書を作成する作業はとても有意義なことである為、受講人数、講義・演習・質疑応答の時間配分を考慮して次年度も行っていきます。
まちづくり論	2 Q	松本 懿	話し方（言葉・声の調子等）、板書、配付資料、学生の理解度の確認、授業内容の興味・関心、授業内容の理解といった項目で、「不十分」とする回答が、回答者16名中それぞれ1～2名、また授業全体の満足度で「あまり満足できなかった」が3名いらっしゃいました。途中段階で授業の内容、進め方等に関する評価や要望を、これまで以上にきめ細かく確認し、授業展開に反映していくことを心がけたいと思います。
観光マネジメント論（1年）	2 Q	五ノ井 壽一	授業に興味を持ちより理解を深めるように創意・工夫努力いたします。1.ガイダンスの充実を図ります。観光の基礎を学ぶにあたり、教科書の持参は必須、そしてより理解を深めるために、あえて読んで確認しながら授業を進めていくことの周知徹底を図ります。2.随時、周囲や後方等確認しながら授業を進めていますが、音声のボリュームアップやマイクの使用等により注意を図ります。3.随時体験や時代の傾向等取り入れて授業を進めていますが、更に検討・工夫していきます。
観光マネジメント論（2年）	2 Q	五ノ井 壽一	授業に興味を持ちより理解を深めるように創意・工夫努力いたします。1.ガイダンスの充実を図ります。観光の基礎を学ぶにあたり、教科書の持参は必須、そしてより理解を深めるために、あえて読んで確認しながら授業を進めていくことの周知徹底を図ります。2.随時、周囲や後方等確認しながら授業を進めていますが、音声のボリュームアップやマイクの使用等により注意を図ります。3.随時体験や時代の傾向等取り入れて授業を進めていますが、更に検討・工夫していきます。
情報システム論	2 Q	由水 伸	とても満足できたが34%、充分満足できた25%、満足できた34%で、93%が満足という判断となっています。「学生が理解しているかを確認があまりなく授業が進んでいったので理解ができなかったと感じました」という意見がありました。毎週、70分の講義後に確認テストを実施していますので理解度の確認はできています。確認テストの結果によって、次回の授業スライド内容を調整していますが、学ぶべき内容が多いため速度が速いと感じるのだと思います。授業内容を分割して「ハードウェア」「ソフトウェア」「情報セキュリティ」など、複数科目として実施することで改善できるのですが、それは今後に委ねるとします。
データベース論	2 Q	由水 伸	全ての項目で、とても満足できたが半数以上を占め、充分満足できた、満足できたを含めた合計は100%なので、総合的には良好だったと判断します。意見1 周りを見てると少し進むのが速すぎて途中から置いてけぼりになる生徒も見られたため、最初の講義を省いて、もう少しゆっくりやってもいいと感じました。回答 確かに講義時間に対し内容が多かったように感じます。次回からは講義と演習の配分を調整したいと考えています。意見2 やっぱパソコンの授業は難しいと感じたと同時に楽しいとも思いました。将来使える技術を学べるので嬉しいのと同時に他の授業さえなければもっと楽しく自主学習もできるのと思いました。回答 授業では予習復習が大切だと言われる中、情報系の科目は繰り返しと発展系の自習は特に重要だと思います。他の科目でも課題が出ている中、取り組む時間が足りないと感じるのはよくわかります。成績や単位に拘らず、授業終了後も続けて学び続けてもらえればと考えます。
人的資源管理論	2 Q	信濃 吉彦	概ね評価いただいたのはありがたいです。ノートの量は減らせません。だって勉強してないでしょう？ノートを減らしたらまったくやらないよね。ノートの採点基準は、ポイントを押さえて綺麗にわかりやすく作成されているか。十分な量があるか。です。例えば指定し料以外からも学習の後が読み取れるかどうかは非常に大きいですし、汚い字でヤツケ仕事のものは評価は低くなります。過激な発言はできるだけ控えるようにします。
人的資源管理論（SP）	2 Q	信濃 吉彦	概ね評価いただいたのはありがたいです。ノートの量は減らせません。だって勉強してないでしょう？ノートを減らしたらまったくやらないよね。ノートの採点基準は、ポイントを押さえて綺麗にわかりやすく作成されているか。十分な量があるか。です。例えば指定し料以外からも学習の後が読み取れるかどうかは非常に大きいですし、汚い字でヤツケ仕事のものは評価は低くなります。過激な発言はできるだけ控えるようにします。
スポーツ文化論	2 Q	細川 光法	これからも分かりやすくなる授業をしていく所存です。ビジネスとスポーツをより結び付けたいという意見については、現在の授業以上にビジネスにつなげると、もはや「文化論」という授業が瓦解してしまう危険性があるため、あえてやっていません。その点ご了承ください。
スポーツ文化論（SP）	2 Q	細川 光法	これからも、分かりやすくなる授業をしていく所存です。
体づくり運動	2 Q	是枝 亮	体づくり運動の内容や意義を学生に伝えながら実践的な授業を展開出来た。最終的な実技試験では指導者として短い時間の中で他者に伝える大切さを実感してもらうことが出来た。この授業で学んだことを将来に活かしてほしいです。
学校保健	2 Q	天野 雅斗	今後は各講でformsを活用した小テストを行うなど理解度の確認を随時行っていく。

生理学	2 Q	黒川 泰任	生理学は人間の正常の機能を追求する医学の一分野の学問です。正常機能などはすでに詳しく殆ど知られているような印象を受けますが、実はまだまだわれわれにとっての未知は数知れません。このため実際には生理学こそが医学や運動の基本的で最も重要な科学の一分野なのです。この講義を取られた方も、またそうではなかった方にもぜひ一度はこのひとの根本を探る科学として、興味を持ったり講義に参加してみたりしていただきたいと希望しております。一生のうちに必ず役に立つ場面に出会うでしょう。
衛生学及び公衆衛生学	2 Q	宮崎 剛司	「とても満足できた」という回答をより得るために、学生が飽きることなく、わかりやすい講義を引き続き提供することに努める。そのために、反転授業を回数を増やそうと考えている。
精神保健Ⅰ	2 Q	畠山 明子	コメントありがとうございます。今期は体調不良により、休講が多くなってしまい申し訳ありませんでした。一部発言に不愉快な点があったというコメントについて、遅刻や私語など授業態度に対して改善されず、全体に対してきつい言い方になってしまったことがあったかもしれませんが、人格を否定するような表現はなかったものと自覚しております。しかしながら、そのように受け取られた方がおられたとしましたらお詫び申し上げますとともに、今後気を付けてまいります。
建築設備	2 Q	君 興治	授業で教えている内容は、二級建築士などの資格試験にはあまり出題されない部分ではあるが、実際の業務では設備がない建築物というのはほとんどないため、卒業後のことを考えると少しでも設備の知識に触れることが必要であるので、座学の授業でありながらも、作図を多く取り入れています。 今後は、もっと実際の設備工事の画像を多く見せることができるよう、教材を増やしていきたいと考えています。
コンテンツデザイン	2 Q	上坂 恒章	昨年までのセメスターからクオータ科目に移行したことで、第1Qで実施した授業を参考に進めた。 その結果、設問8「理解できましたか」は、「理解できた」以上で100%、設問9の「先生は熱意を持って授業。。」で「そう思う」以上が100%で、その内「とてもそう思う」71%であった。設問10の「この授業全体的にどの程度満足していますか」で、「満足できた」以上が100%であった。 改善点としては、演習授業であるので、学生がPC操作で戸惑った時の対応をすると授業が止まってしまうので、その対応を更に改善したい。
公共マネジメント論	2 Q	山本 一彦	1年次配当科目にかかわらずかなりの4年生履修者がいたことに少々戸惑ったが、授業展開に特に問題は生じなかった。試験結果からは1年生の健闘が伺える。内容について理解できなかったとする受講者も一定程度あり、今後、改善を要する課題としたい。
教育史	2 Q	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足した」以上が94%、「熱意」は、「そう思う」以上が97%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が94%でした。「資料をパワーポイントで配布してくれ内容を後から確認できたりすることが出来るのが良かった。」「グループワークで定期的にメンバーを入れ替え意見を交換することで別の視点の意見を知ることが出来たことがとても良かった。」「休んだ際に希望者は補講を受けさせて休んだ際の授業内容を知ることが出来たので、授業に追いつくことが出来た。」「先生の声が聞こえやすく資料も見やすく授業を集中して受けることが出来た。」「グループワークが中心で、ただ覚えるだけでなく考える授業がとても楽しかった。」「先生も一人一人に目を向けている様子と、授業や生徒に対しての熱意が伝わってきた。」等の評価を励みに一層の改善・充実に努めます。
教育課程論（2年）	2 Q	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足した」以上が100%、「熱意」は、「そう思う」以上が100%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が100%でした。「思考課題が多いため教育について毎回考えさせられる良い経験をさせてもらえる。」「スライド資料も見やすくわかりやすく、パソコン等の機器も活用しているためとても満足のいく授業だと思った。」「先生の授業は毎回とても考えられているなと思った。」「重要なところを学生たちが理解しやすいように説明してくれたり、グループワーク(アクティブラーニング)も上手く機能していると感じた。」「付箋など今回も新しいことを取り入れている姿勢とても尊敬できる。」等の評価を励みに一層の改善・充実に努めます。
教育方法論（M・D・A）	2 Q	藤根 収	比較的高い評価をいただきました。一部教材の提示に関して意見をいただきましたので、今後配慮しつつ、分かりやすい授業改善に努めたいと思います。
教育方法論（S）	2 Q	藤根 収	比較的高い評価をいただきました。一部グループワークの進行などに意見をいただきましたので、今後更に充実した授業が展開できるよう、授業改善に努めたいと思います。
教育相談(カウンセリングを含む。)(M・D・A)	2 Q	蝦名 美穂	授業開講時期が教育実習や介護等体験、教育採用試験時と重なり、直接講義に参加できなかった学生さんが今年度は多くいらっしゃいました。授業の内容は録画し、視聴できるようにしておきましたが、視聴時期によっては講義の内容が先を行くなどしてしまったことが理解度や満足度に影響をしているように推察いたします。次年度は、これらのことを考慮しながら授業開講時期等を検討したいと思います。
教育相談(カウンセリングを含む。)(S)	2 Q	蝦名 美穂	授業への参加態度はとても熱心で、授業終わりのリアクションシートでの対話も継続して行うことができたかと思います。次年度は、授業の開講時期を慎重に検討しながら進めていきたいと思います。